

SKCでは、現在主に自動車のインサイドハンドルをメインに成形-PL加工-めっきの生産をしています。

主な取引先は

1. 鳴海合金のタイ法人NARUM(THAILAND)CO.,LTD.向けで三菱自動車のZCレバーの生産を行っています。
4月以降ピックアップトラック 5F00 トライトンのインサイドレバー、リヤゲートのガーニッシュとレバーの生産が始まります。



PAJERO SPORT



X PANDER CROSS



ATTRAGE

2. 小島プレスグループのKOJIMA AUTO TECHNOLOGY (THAILAND) CO.,LTD向けでトヨタのインサイドレバーハンドル3種類(C-HR、カムリ、カローラ、ハイラックス等のIMV)エアー吹き出し口のノブインサート5種類を生産しています。



HILUX REVO



FORTUNER



COROLLA ALTIS

3. FALTEC SRG GROBAL (THAILAND)CO.,LTD向けでニッサン キックスのグリル4部品とバンパー、アルメイラのモールグリルを生産しています。



KICKS



ALMERA

4. Roongtavorn Plastic Co.,Ltd.向けでエレクトロラックス社のアメリカ向け冷蔵庫の戸扉のエンドキャップを生産しています。

エレクトロラックス社は日本ではあまり知られていませんが(日本では多くのコインランドリに導入されています)北欧スウェーデンに本社を置く家電業界のグローバルリーディングカンパニーです。



5. JOYSON-TOA SAFETY SYSTEMS CO.,LTD.向けでいすゞ自動車のピックアップトラックD-MAX、MU-Xの6時ベゼルを生産しています。



D-MAX



D-MAX内装6時ベゼル



MU-X

6. KAKIHARA MEIBAN(THAILAND)CO.,LTD.向けでヤンマーのエンブレム、ヤンマーマークの生産を行っています。



その他バイクの部品も生産していたり受注開発検討中です。

タイでは今、中国の自動車メーカーが中国本土以外でタイに組み立て工場を立地し主に電気自動車を生産し低価格で販売しようとしています。

日本の自動車メーカーの踏ん張りどころです。

4月のソンクラーン祭(水かけ祭)について

タイでは、4月にタイの旧正月ソンクラーン祭が今年は4月13日から15日にかけて行われます。

タイを代表するお祭りと言えば、4月の旧正月に行われる「ソンクラーン」がそのひとつ。

タイ全土で水かけを行う「水かけ祭り」としても広く知られています。

ソンクラーンとは、太陽の軌道が12ヶ月の周期を終え、新たに白羊宮(おひつじ座)に入る時期を祝う伝統行事です。

もともとは、仏像や仏塔、さらに年長者などの手に水を掛けてお清めをするという伝統的な風習が受け継がれて来たソンクラーン。

一年で最も気温の上がる季節の、暑さのぎとしても親しまれてきました。

SKCでもソンクラーン連休に入る前に全社を上げてお祭りをします。

この時期の服装は、花や葉っぱの柄の服で、よくアロハシャツを着ています。

デパートやショッピングセンター、路上でもこの時期は多くのアロハシャツを売っています。

デパートの店員も、アロハを着て接客をしていますよ。

(2015年SKCソンクラーン祭)



この連休でタイの方々は実家へ帰省する(日本の正月と同様)ので高速道路や主要幹線道路は大渋滞となります。

ちなみにこの連休期間中、全ての高速道路は無料で料金所は解放となります。

海外からこの水かけ祭に参加するために多くの観光客が来タイします。

特に欧米人の方は、はしゃぎ方も凄くタイ人以上に盛り上がっています。

セブンイレブンでも大きな水鉄砲が売られており見知らぬ人にも水を掛けけてきます。

中にはベビーパウダーを混ぜた水をかける者もいます。

特に盛りがる場所はシーロム通り、カオサン通り、BTSサイアム～チットロム駅周辺のサイアムスクエアからセントラルワールドです。

シーロム通りは歩行者天国になります。

もし行かれることが有れば濡れて汚れても良い服装で財布、スマホの防水対策は必ず行って下さいね。

タイは今が一番気温が上がる時期で最高気温が40°C越えの日もあります。

日本の様に湿度は高く無いので日陰に入ると意外に過ごしやすいです。

是非この時期にタイを訪れて暑さ体験してみて下さい。



カオサン通り



BTS(スカイトレーン)サイアム～チットロム駅周辺
サイアムスクエア～セントラルワールド前

